

2025年3月期第3四半期 決算補足資料

萩原電気ホールディングス株式会社

(東証プライム・名証プレミア 7467)

2025年3月4日



2025年3月期 第3四半期 決算概要

売上高は4期連続で過去最高を更新、売上構成の変化等により減益

- 売上高は、前年同期比17.8%増の1,949億円で過去最高を更新。
自動車関連顧客の生産調整や中国市況の停滞などによる影響は受けつつも、新たな商流の獲得や円安による増収効果、生産設備投資需要を取り込み売上は増加した。
- 売上構成の変化や前年同期のスポット利益の反動減などにより売上総利益が伸び悩んだことに加え、人的投資やシステム投資などの成長投資を活発化させたことで、営業利益は前年同期比14.5%減の55億円となった。
- 営業外費用に為替差損3.9億円を計上するなどにより、経常利益は、前年同期比20.2%減の49億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比21.3%減の30億円となった。

2025年3月期 業績予想

通期の業績予想は11月8日の公表値を据え置き、
年間配当予想は期初予想通り一株当たり185円(中間90円、期末95円)を計画

2025年3月期第3四半期決算概要

2025年3月期業績予想

2025年3月期第3四半期業績

- ・売上高は過去最高を更新する一方で、各利益段階で減益となった。
- ・概ね想定通りに進捗。

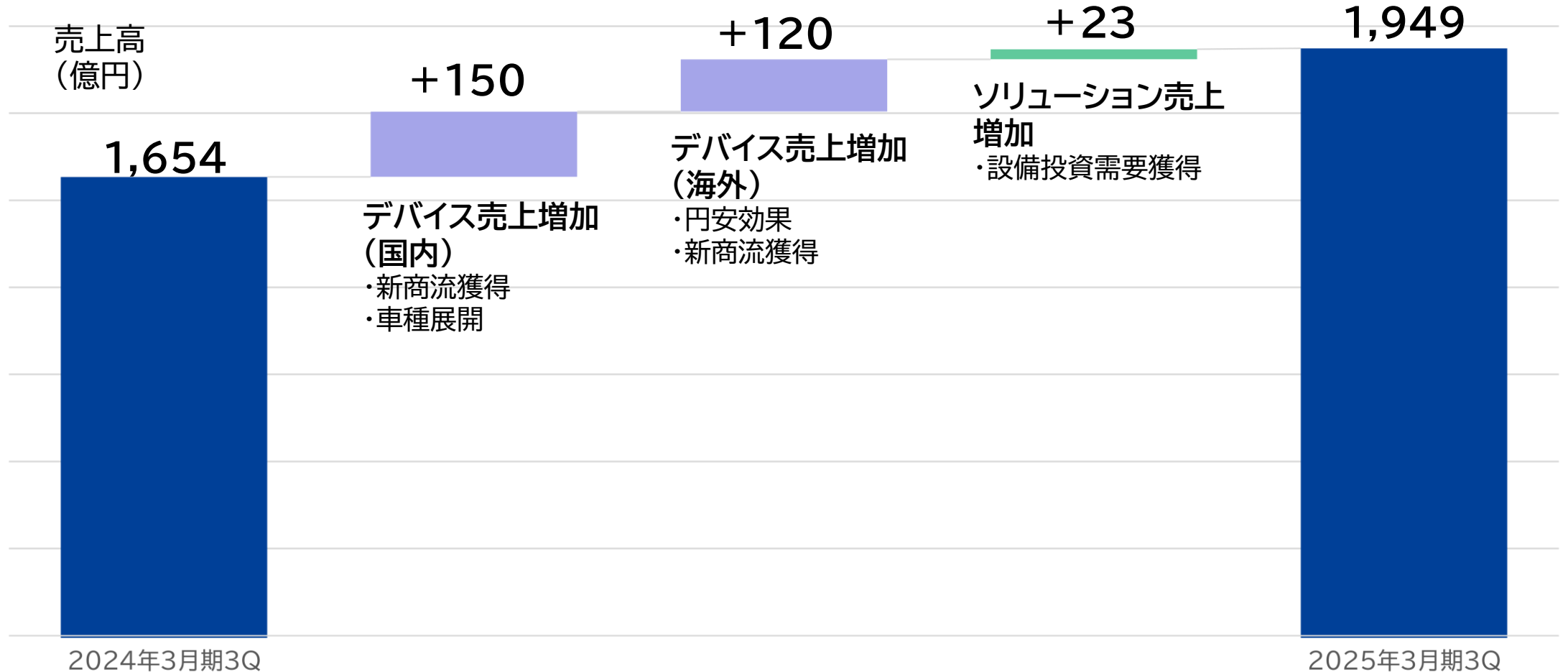
(単位:百万円)

	2024年3月期3Q		2025年3月期3Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	165,437	100%	194,920	100%	+29,482	+17.8%
売上総利益	15,334	9.3%	15,719	8.1%	+385	+2.5%
販管費	8,893	5.4%	10,213	5.2%	+1,320	+14.8%
営業利益	6,441	3.9%	5,505	2.8%	▲935	▲14.5%
経常利益	6,146	3.7%	4,904	2.5%	▲1,241	▲20.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,939	2.4%	3,099	1.6%	▲839	▲21.3%
1株当たり四半期純利益 (円) *1	413.33	—	311.10	—	▲102.23	—
為替レート(ドル)	138.11円		151.29円		13.18円円安	

*1 新株予約権の権利行使により前年同期と比較し発行済株式数が増加しております。期中平均株式数は、2024年3月期3Qは9,530,106株、2025年3月期3Qは9,963,927株となります。

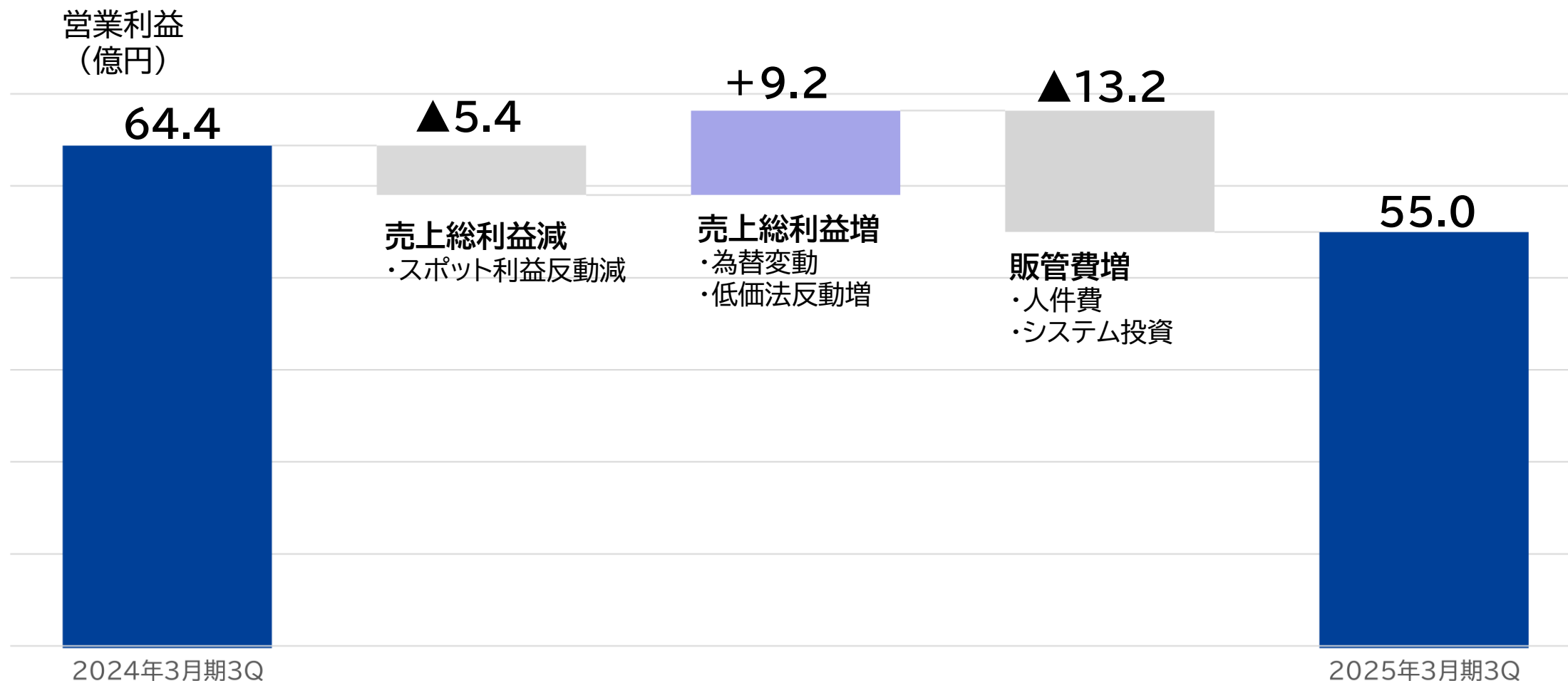
売上高の増加要因

- ・前年同期比較で294億円(+17.8%)増加した。
- ・デバイス事業において新たな商流の獲得や円安による増収効果があったほか、ソリューション事業では設備投資需要の取り込みにより売上が増加した。



営業利益の増減要因

- ・前年同期比較で9.3億円(▲14.5%)減少した。
- ・デバイス事業の売上構成比率上昇や前年同期のスポット利益反動減などにより売上総利益率が低下したことに加え、成長投資を活発化させたことで営業利益は減益となった。



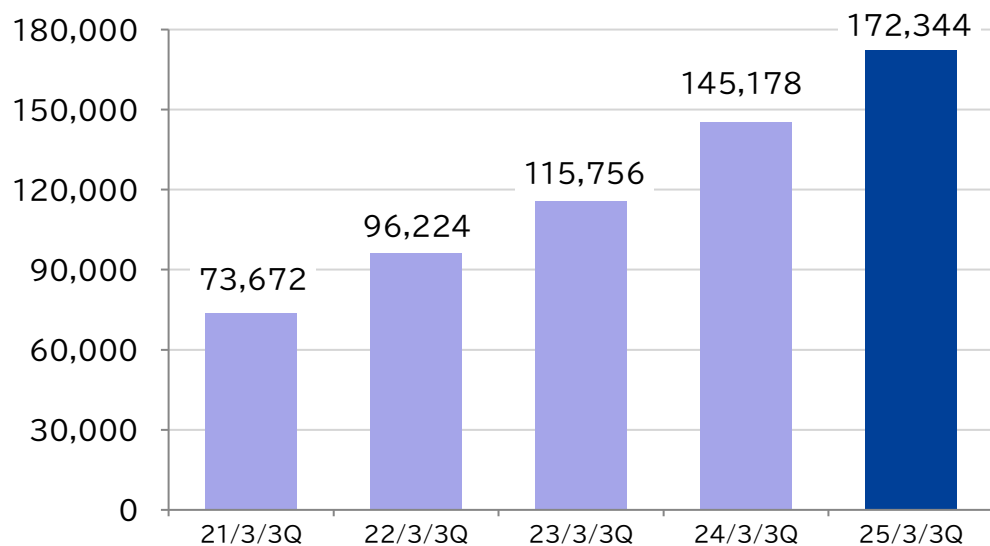
デバイス事業 業績概要

- ・売上高は、自動車生産台数の減少に対し、新たな商流の獲得や車種展開、円安効果により増収となった。
- ・商品構成変化やスポット利益反動減、費用増などにより、セグメント利益は減益となった。

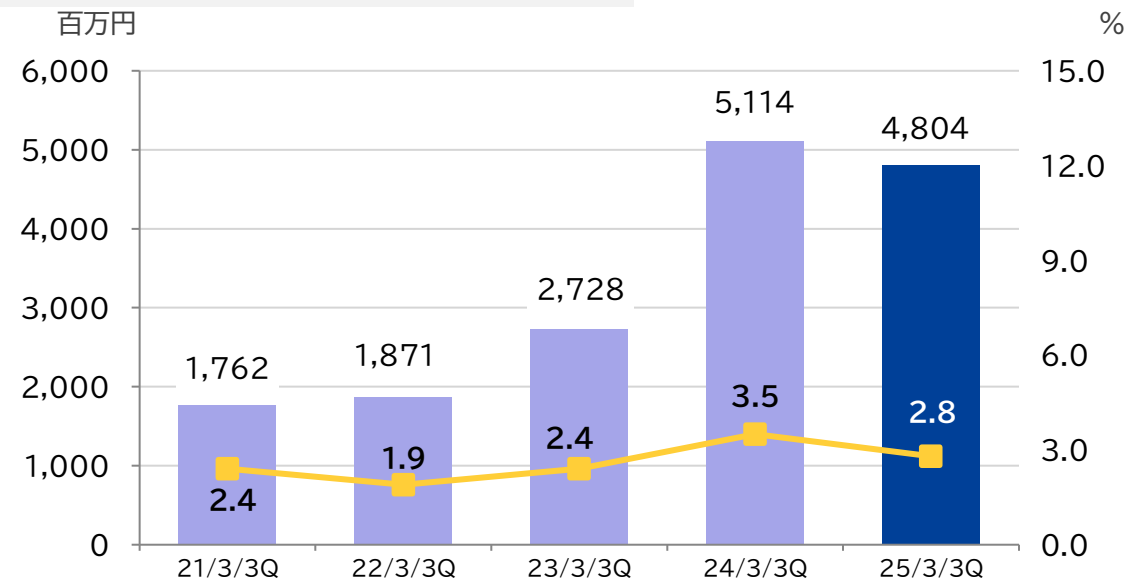
(単位:百万円)

	2024年3月期3Q		2025年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	145,178	100%	172,344	100%	+27,166 +18.7%
セグメント利益	5,114	3.5%	4,804	2.8%	▲309 ▲6.1%

売上高
百万円



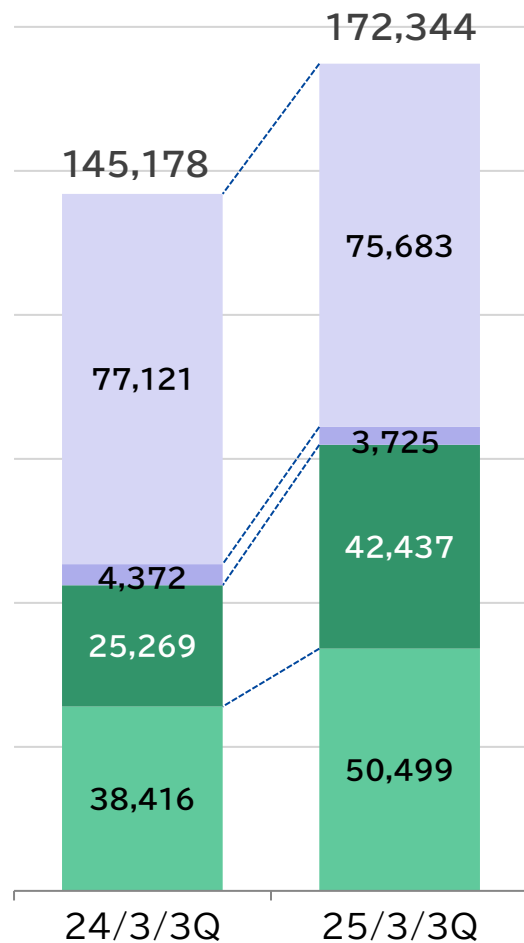
セグメント利益・セグメント利益率
百万円



デバイス事業 得意先別売上高前期比較

- ・国内では自動車生産台数の減少に対し新たな商流の獲得や車種展開による需要増が売上を押し上げた。海外では加えて円安による増収効果があった。
- ・新たな商流の獲得による増収は国内外で192億円となった。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

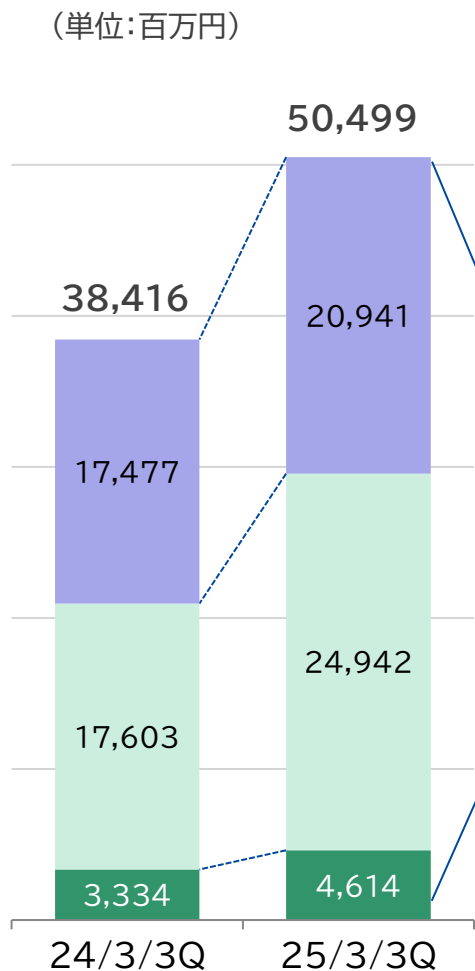
	2024年3月期3Q		2025年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
デンソー	77,121	53.1%	75,683	43.9%	▲1,437 ▲1.9%
東海理化	4,372	3.0%	3,725	2.2%	▲647 ▲14.8%
その他	25,269	17.4%	42,437	24.6%	+17,168 +67.9%
海外拠点得意先 *1	38,416	26.5%	50,499	29.3%	+12,082 +31.5%
合計	145,178	—	172,344	—	+27,166 +18.7%

*1 海外拠点得意先には、デンソーを含む主要顧客の海外事業所向けの売上が含まれております。

デバイス事業 エリア別売上高前期比較

- ・各エリアにおいて前年同期を上回った。
- ・海外は円安により39億円の増収効果があった。

(単位:百万円)



	2024年3月期3Q		2025年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
日本	106,761	73.5%	121,844	70.7%	+15,083 +14.1%
アジア	17,477	12.0%	20,941	12.2%	+3,463 +19.8%
アメリカ	17,603	12.1%	24,942	14.5%	+7,339 +41.7%
欧州	3,334	2.3%	4,614	2.7%	+1,279 +38.4%
海外計	38,416	26.5%	50,499	29.3%	+12,082 +31.5%
合計	145,178	—	172,344	—	+27,166 +18.7%

*1 地域名は当社グループ拠点の所在地域(グループ内取引は除く)です。

*2 当社グループのシンガポール、中国、アメリカ拠点の決算期は12月となるため、2025年3月期3Qに織り込まれる業績は2024年1月～2024年9月の期間のものとなります。

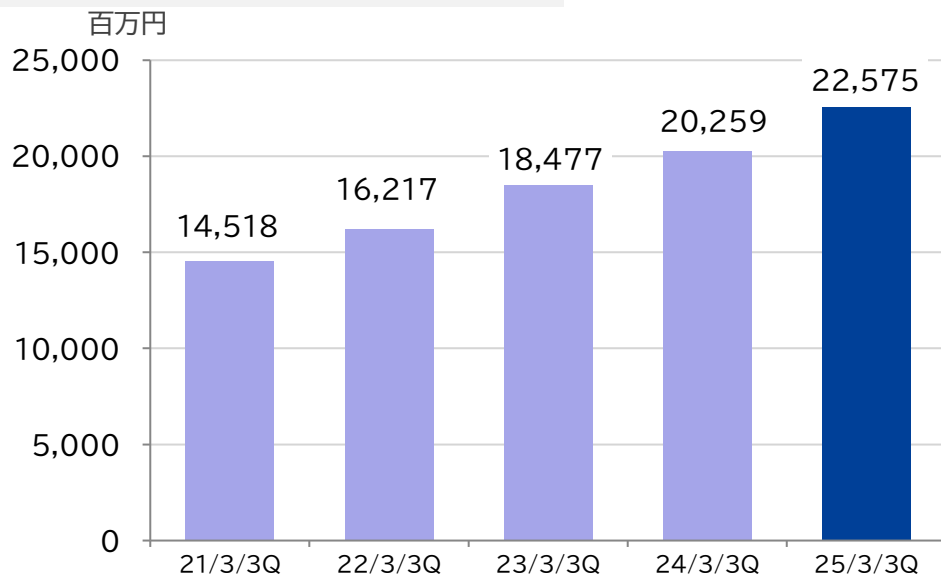
ソリューション事業 業績概要

- ・中国市況の停滞を受け一部顧客の売上が伸び悩んだものの、自動車関連企業の設備投資需要を取り込み増収となった。
- ・売上構成の変化や成長投資による費用増があり、セグメント利益は減益となった。

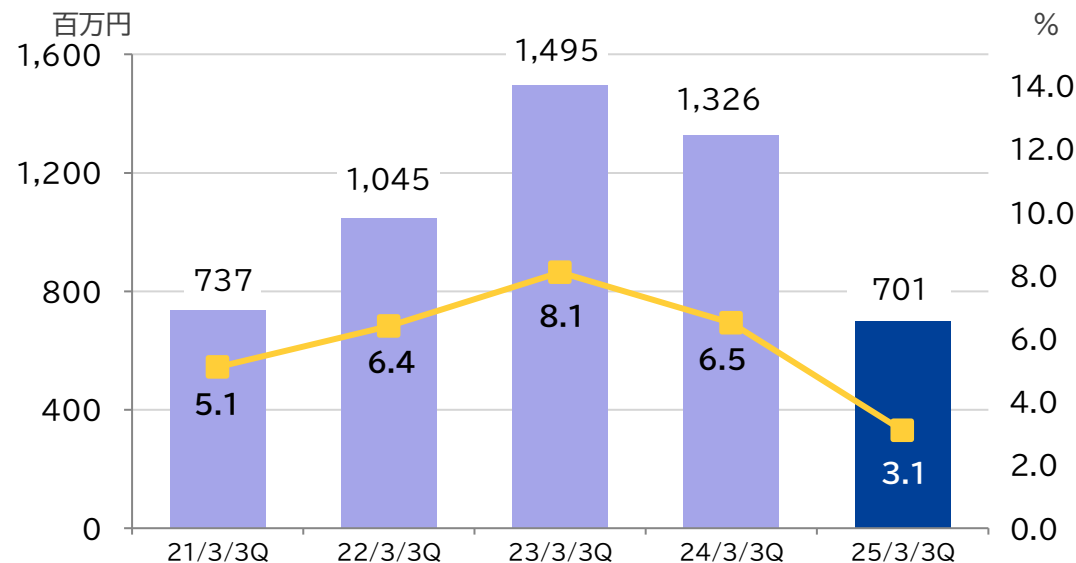
(単位:百万円)

	2024年3月期3Q		2025年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	20,259	100%	22,575	100%	+2,316 +11.4%
セグメント利益	1,326	6.5%	701	3.1%	▲625 ▲47.2%

売上高



セグメント利益・セグメント利益率

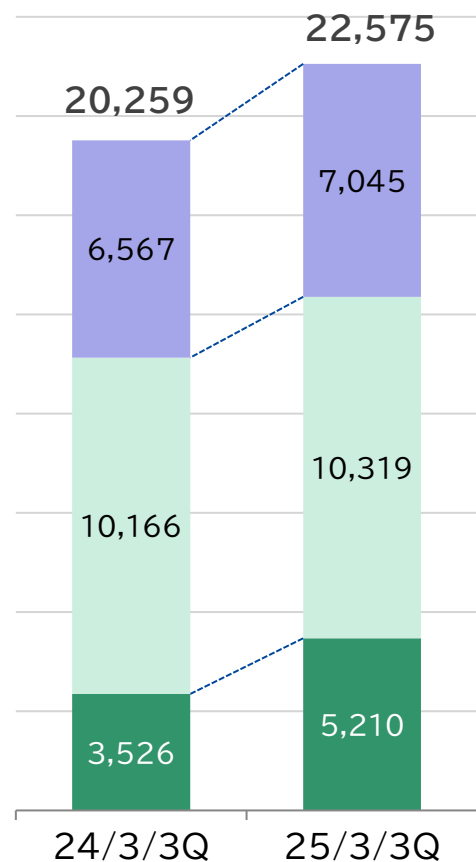


ソリューション事業 事業領域別売上高前期比較

・組込ソリューションは、中国市況の停滞による顧客の在庫調整の動きを受けたものの前年同期並みで進捗した。
 ・FAエンジニアリングは、生産設備需要を取り込み、新たな領域の製造ライン構築の受注などにより売上を牽引した。

(単位:百万円)

(単位:百万円)



*1	2024年3月期3Q		2025年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
ITソリューション・データプラットフォーム	6,567	32.4%	7,045	31.2%	+478 +7.3%
組込ソリューション	10,166	50.2%	10,319	45.7%	+153 +1.5%
FAエンジニアリング	3,526	17.4%	5,210	23.1%	+1,684 +47.7%
合計	20,259	—	22,575	—	+2,316 +11.4%

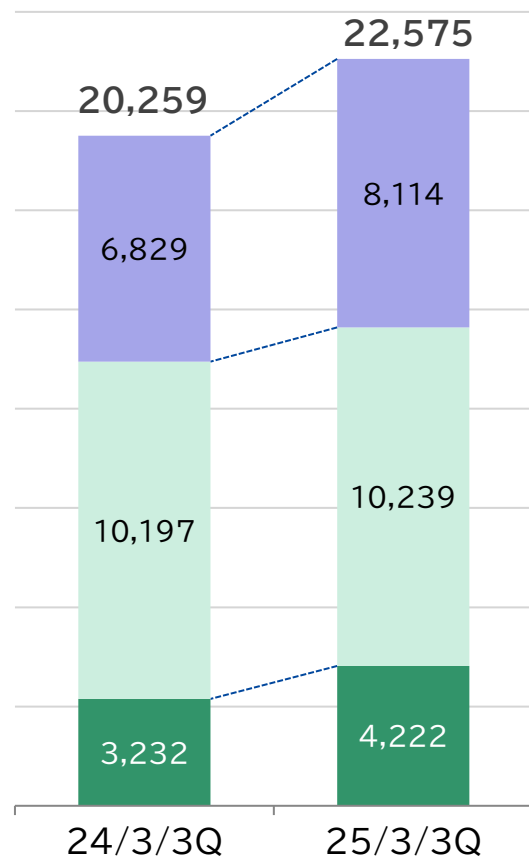
2025年3月期より、事業領域を、従来のシステムソリューション、組込、FAソリューションの名称から、それぞれITソリューション、組込ソリューション、FAエンジニアリングに変更し、新たにデータプラットフォームを加えた4領域としております。データプラットフォームの売上は、ITソリューションと合算しております。各事業の内容は以下の通りです。

ITソリューション	:IT機器販売、アプリ開発、IoTシステム開発、セキュリティ対策等
データプラットフォーム	:IoTプラットフォーム基盤及びサービス販売等
組込ソリューション	:産業用コンピュータ開発・製造、機械装置向け組込産業用コンピュータ販売等
FAエンジニアリング	:計測機器・検査装置・FA機器販売、各種自動化・省力化製造装置の開発・製造・販売等

ソリューション事業 顧客業種別売上高前期比較

- ・自動車関連顧客の生産・開発設備投資需要を取り込んだ。
- ・産業機器関連の一部顧客において中国市況の停滞に伴う在庫調整の動きがみられた。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	2024年3月期3Q		2025年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
自動車	6,829	33.7%	8,114	35.9%	+1,284 +18.8%
FA・産業機器	10,197	50.3%	10,239	45.4%	+41 +0.4%
その他	3,232	16.0%	4,222	18.7%	+989 +30.6%
合計	20,259	—	22,575	—	+2,316 +11.4%

連結貸借対照表の状況

- ・資産は、主に商品及び製品の増加とのれん発生による増加があった。
- ・負債は、主に短期借入金が増加があった。
- ・純資産は、主に利益剰余金の増加があった。

(単位:百万円)

	2024年 3月末	2024年 12月末	増減
流動資産	111,572	117,925	+6,352
商品及び製品	41,446	52,879	+11,432
固定資産	8,134	11,538	+3,404
有形固定資産	4,521	4,774	+252
無形固定資産	276	3,332	+3,056
投資その他資産	3,336	3,432	+95
資産合計	119,706	129,464	+9,757

	2024年 3月末	2024年 12月末	増減
流動負債	45,111	48,835	+3,723
固定負債	24,234	28,877	+4,642
負債合計	69,345	77,712	+8,366
株主資本	46,598	47,914	+1,315
その他	3,762	3,836	+74
純資産合計	50,361	51,751	+1,390
負債純資産合計	119,706	129,464	+9,757

2025年3月期第3四半期決算概要

2025年3月期業績予想

2025年3月期業績予想

・通期の業績予想は2024年11月8日の公表値を据え置いた。

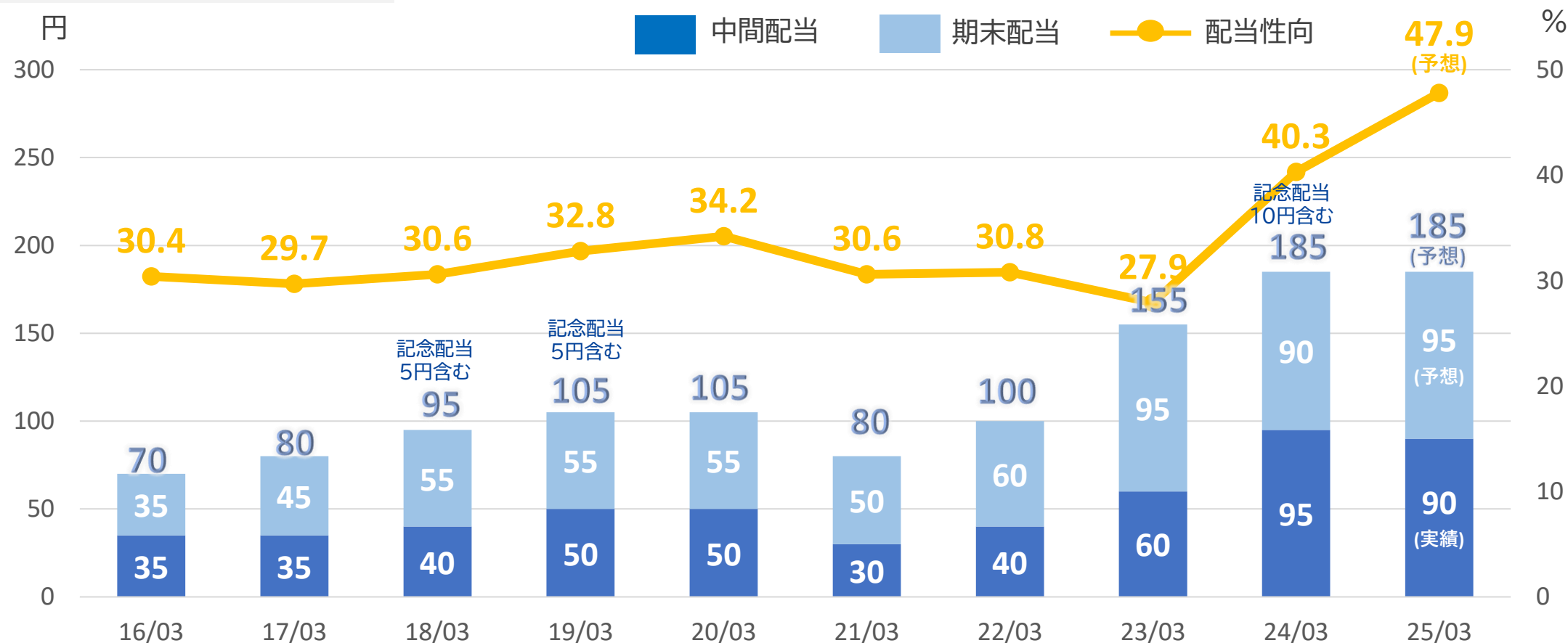
(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期(予想)		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	225,150	100%	255,000	100%	+29,849	+13.3%
営業利益	7,711	3.4%	7,000	2.7%	▲711	▲9.2%
経常利益	7,221	3.2%	6,200	2.4%	▲1,021	▲14.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,421	2.0%	3,850	1.5%	▲571	▲12.9%
1株当たり当期純利益(円)	458.80	—	386.38	—	▲72.42	—
為替レート(ドル)	140.5円		143.0円		2.5円円安	—

株主還元

- ・基本方針は配当性向30～40%を目途とした安定配当。
- ・配当予想は期初予想を据え置き、年間配当予想185円(期末配当95円)を計画。

配当金および配当性向の推移





萩原電気ホールディングス株式会社

【本資料お取り扱い上のご注意】

本資料作成にあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、情報の正確性および完全性を保証するものではありません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は将来見通しとは大きく異なる場合がございます。

従いまして、本資料のみに依拠した投資判断をされますことをご控えいただきますようお願いいたします。また、本資料利用により生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。